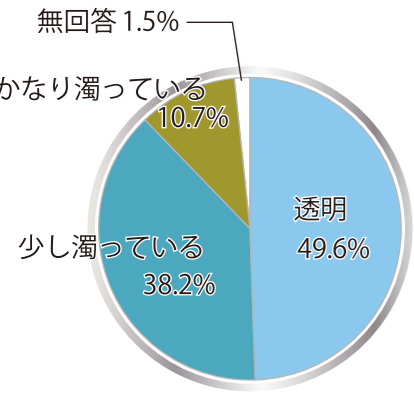
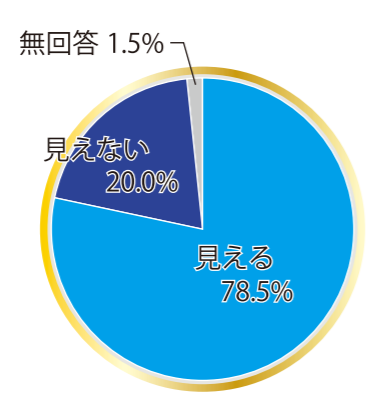


にごりの状況



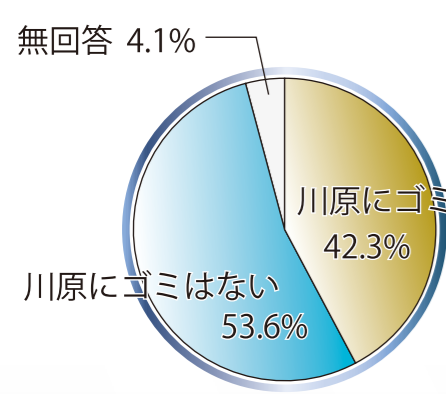
川の中が見えるか



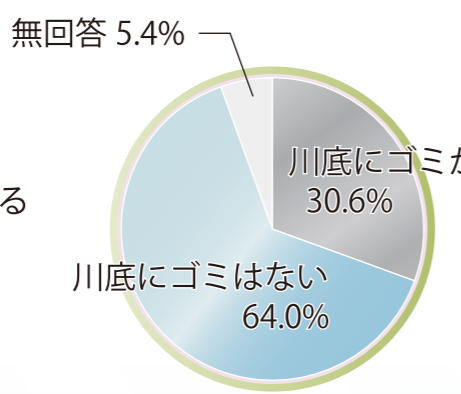
こんな生き物を発見

- ・河畔林が多く野鳥が多い。時には大きな鯉が群れをなす。絶滅危惧種アサガが生息している。(桂川流域・納所川)
 - ・ネジバナをほとんど見かけなくなったかわりに、アカバナユウゲショウの花を多く見かけます。(猪名川流域・都賀川)
 - ・小魚がいる。サギも時々やってくる。(琵琶湖流域・大宮川)
 - ・ツバメ、カイツブリ、クロベンケイガニ(8匹)がいました。(淀川流域・十三干潟)
 - ・ウグイス、ヒヨドリ、カワラビワ、キジバト、エコツキの花、アオモンイトトンボ(琵琶湖流域・佐久良川)
 - ・子亀発見! 体長8cm(?)ミドリガメ?アカミミガメ?(淀川流域・神崎川)
- ※調査票の記述をもとに抜粋

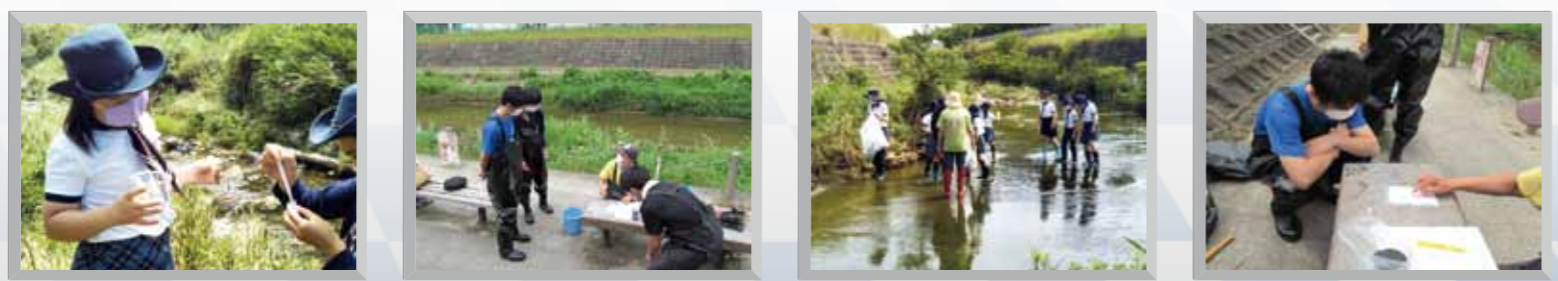
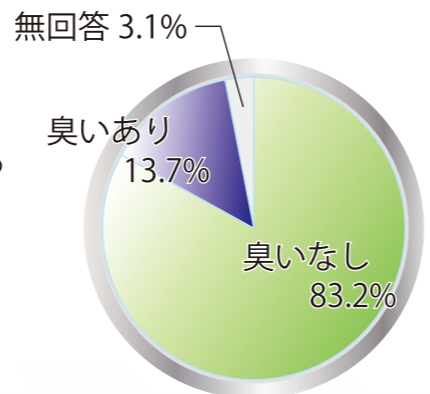
川原にゴミがあるか



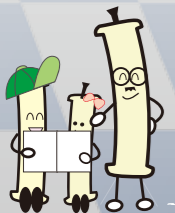
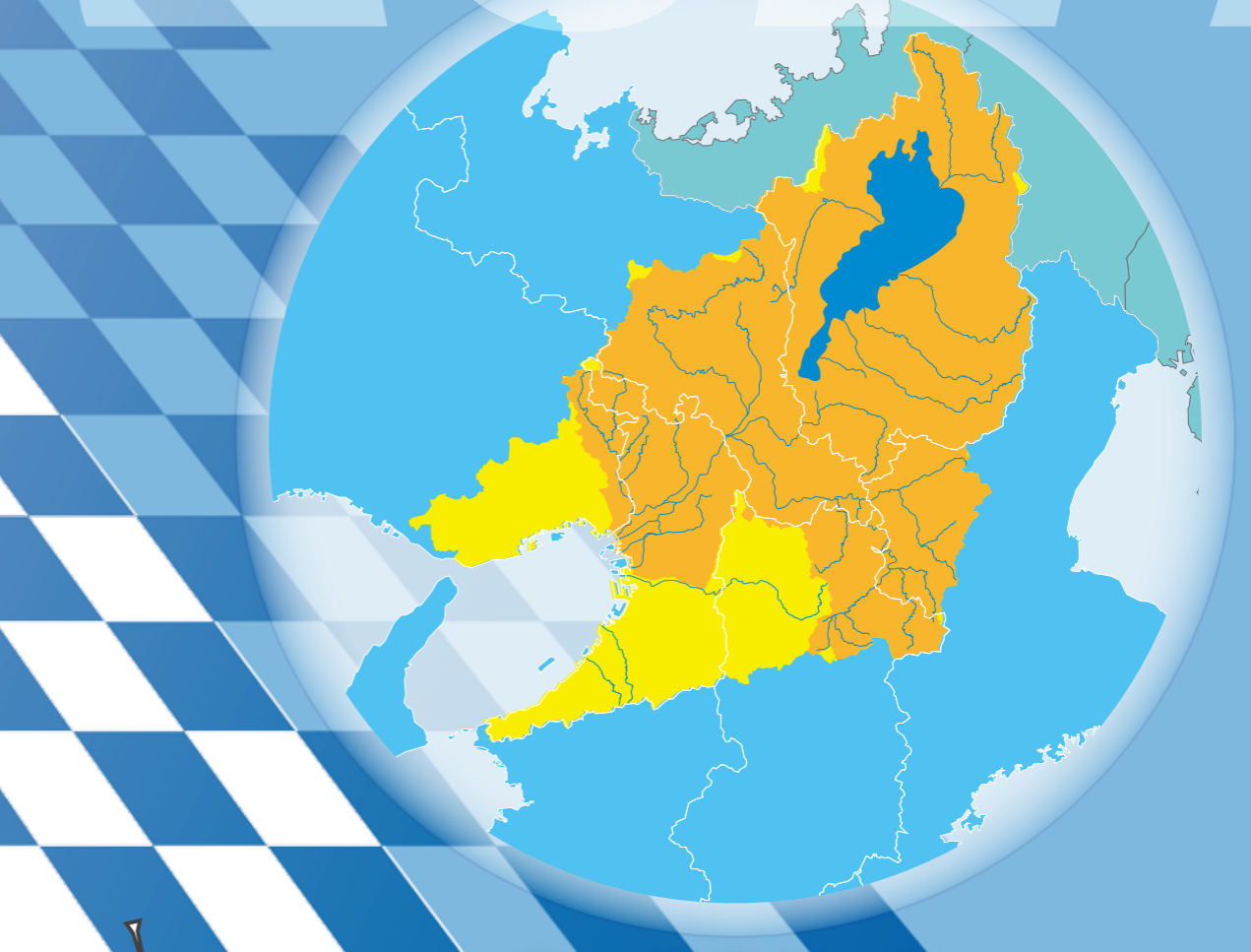
川底にゴミがあるか



におい



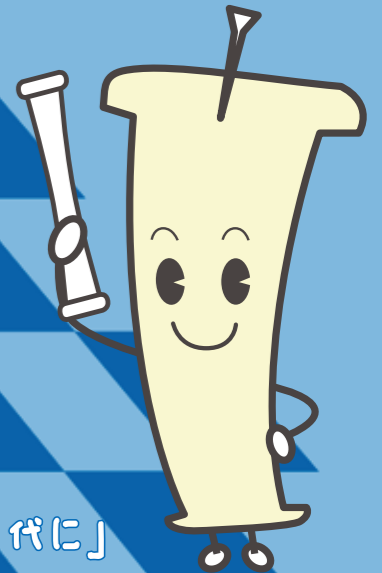
わくわく WAQU² 調査隊 ちょうさたい



2021年の調査結果はBYQのホームページでも公開しています。スマートフォン、タブレットをお持ちの方はQRコードを読み込んでください。



ちょうさけっか 調査結果



公益財団法人 **琵琶湖・淀川水質保全機構** WAQU²(わくわく) 調査隊事務局
 〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目2番15号 大手前センタービル4階
 TEL (06)6920-3035 FAX(06)6920-3036



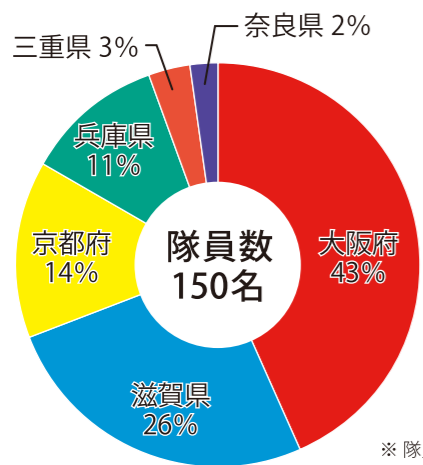
BYQキャッチフレーズ「飲める水 遊べる水辺 次世代に」

公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構 (BYQ) では、身近な川への関心が薄れてきている中、昔のように川と親しむきっかけをつくることで、水環境を考えなおす時間づくりを目指した WAQU² (わくわく) 調査隊を平成16年(2004年)に結成し、活動を行っています。

調査の概要

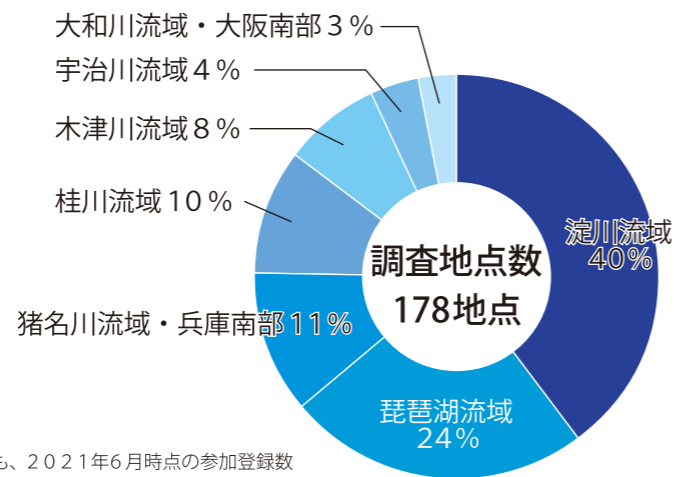
- 調査実施日**
2021年(令和3年)は、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、一斉調査日を設けず、各地域の感染の状況や予防対策を総合的に考慮いただき、安全に実施できるとされる時期に隊員の皆様のご判断により実施をしていただきました。
※ この調査結果は、2021年7月30日までに報告のあった調査データを反映しています。
- 調査項目**
COD、川の濁り・臭い、川原の観察、川の水深、水中の川底の観察

調査隊員

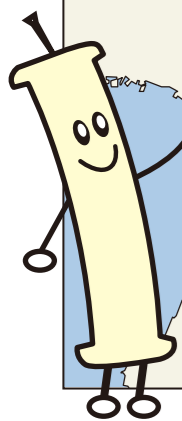


※ 隊員数、調査地点数とも、2021年6月時点の参加登録数
※ 隊員数、調査地点の構成比は、小数点以下を四捨五入しています。
※ 小数点以下の値により、100%に満たない場合があります。

調査地点数

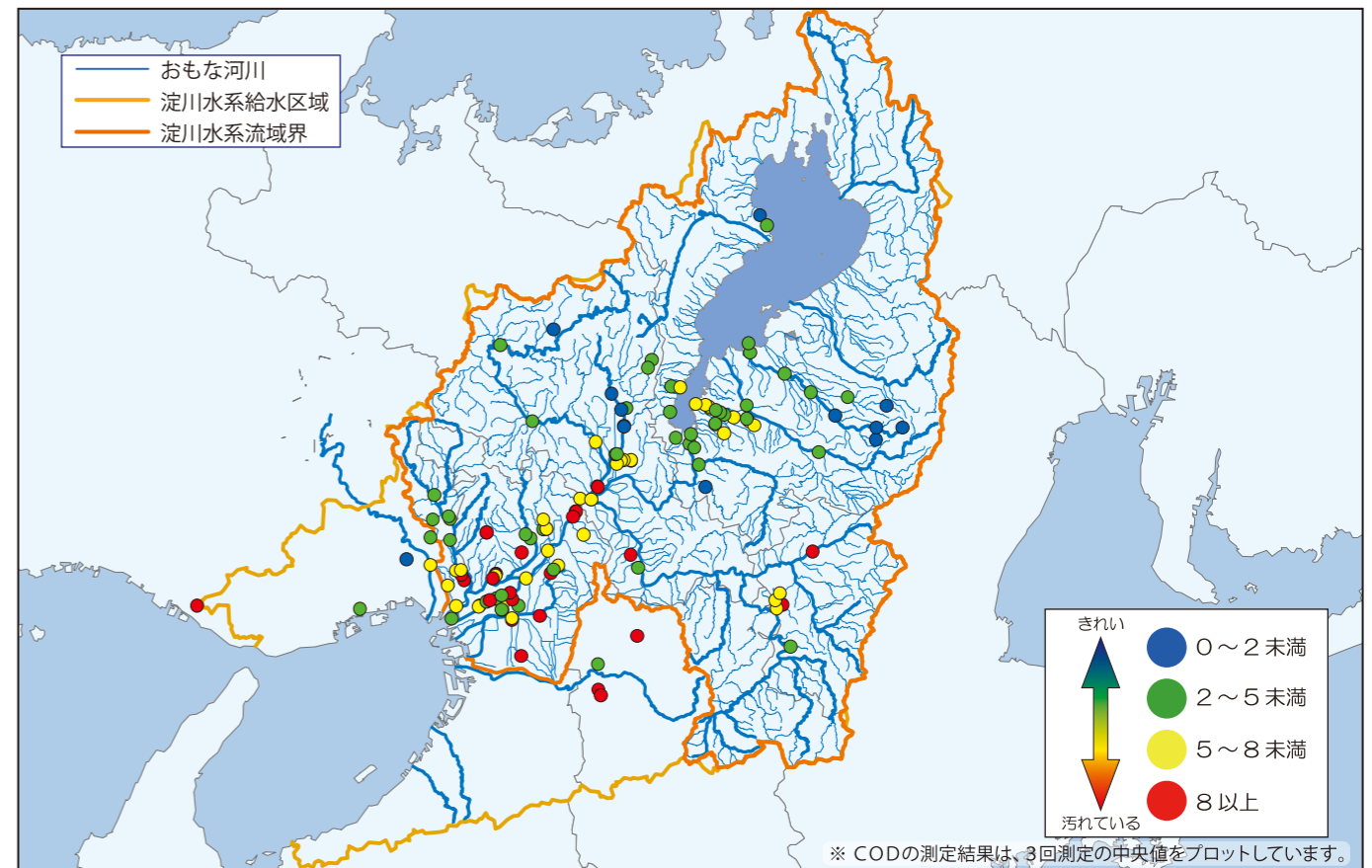
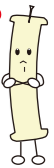


調査地点分布状況



COD (化学的酸素要求量)

水の汚れを示す代表的な指標。強力な酸化剤を加えて水中の有機物を酸化するとき使用(消費)した酸化剤の酸素の量。CODが高いということは、水中に酸素と反応しやすい物質がたくさん入っていると考えられます(河川や湖沼水の場合、すぐ近くに生活排水や汚水が流れ込んでいる可能性があります)。水中の酸素が消費されやすいので、特に流れのない場所では、酸素不足になって魚が棲めなくなってしまいます。自然の浄化作用も低下してしまいます。



水の濁り

